

令和6年度「第4次ふくいの食育・地産地消推進計画」関係施策実施状況

【食育】基本理念:持続可能な食を支える食育の推進

主な施策	関連事業	内容・実績	担当課
①家庭内や地域のつながりを活かした食育の推進			
ライフステージに応じた食に関する知識の普及	家庭の教育力向上事業	・新小学1年生の保護者に生活習慣に関するリーフレットの配付(9月)、家庭教育アドバイザーによる「早寝早起き朝ごはん」の習慣づくり等に関する出前家庭教育講座の実施 リーフレット配布数:8,000枚 出前講座実施数:19回	義務教育課
		・県PTA連合会の地区別研修会で「食の大切さ」について講演会を実施 講演会実施地区数:1地区 のべ開催数:1回	
		・「早寝早起き朝ごはん」など朝食や生活習慣の必要性を啓発する番組を放送 番組放送時期:1月～3月 回数:1回	
人生100年時代の歯の健口応援事業	福井の「食」の未来を支える食育推進事業	・未就学児施設の4～5歳児を対象にフッ化物洗口を実施 実施施設数:121施設 ・妊産婦無料歯科健診の実施 受診者数:1,649人	健康政策課
		・各種団体で食育講座を開催(食育リーダー派遣) 派遣回数:78件 ・エンゼルランドふくい、こども家族館で食育イベントを開催 エンゼルランド:6月16日(日) こども家族館:6月23日(日)	
		・学校における地域の食材や食文化・農林漁業を学び体験する授業の実施を支援 実施校:104校	
ふくい農林水産グルメイベント開催事業	ふくい農林水産グルメイベント開催事業	・全国高校生食育王選手権大会の開催 WEB予選 延べ125チーム参加 9/29決勝大会 8チーム出場	流通販売課
		・「省塩(減塩)」を始めとする食生活や運動、睡眠などの健康づくりに関する情報を一元化したポータルサイト「ふくい健康づくり応援サイト」の開設(R6.10月)	
		・「ふくい健康づくり応援ガイドブック」の作成	
「ふくい100彩ごはん」プロジェクト普及・啓発事業	「ふくい100彩ごはん」プロジェクト普及・啓発事業	・ふくい100彩ごはんのメニュー認証 認証数:241メニュー、206店舗(うち省塩プレミアム 11) ・大豆料理100レシピの普及 リーフレット作成数・配布先:5,181人(健康関連イベント等) ・食生活改善推進員による事業所訪問:50事業所 2,468人	健康政策課
		・食育に取り組む企業を「ふくいの食育推進企業」として募集・登録するとともに、登録企業の取組みを支援	
		・「ふくいの食育推進企業」:18社登録(計91社) ・食育情報メールマガジン配信(毎月) ・食育リーダーによるセミナー開催 ・食育推進に係る研修会開催 ・「食育推進企業」の食育に関する取組みについて、流通販売課HPに掲載	
地域団体等と連携し、和食文化やふくいの伝統食の保護・継承につながる料理教室や学校給食のメニューコンテスト等を開催	福井の「食」の未来を支える食育推進事業【再掲】	・各種団体で食育講座を開催(食育リーダー派遣)	流通販売課
		・児童生徒や保護者の食に対する関心を高めるとともに、ふるさと福井の食文化や地場産物を活用した給食メニューの考案、食に関心のある児童生徒が個性を発揮し、自らの可能性に挑戦する機会の提供を目的に、児童生徒のアイデアによるメニューコンテストを実施する。 コンテスト応募数:2,155	
		・児童生徒や保護者の食に対する関心を高めるとともに、ふるさと福井の食文化や地場産物を活用した給食メニューの考案、食に関心のある児童生徒が個性を発揮し、自らの可能性に挑戦する機会の提供を目的に、児童生徒のアイデアによるメニューコンテストを実施する。 コンテスト応募数:2,155	

令和6年度「第4次ふくいの食育・地産地消推進計画」関係施策実施状況

【食育】基本理念:持続可能な食を支える食育の推進

主な施策	関連事業	内容・実績	担当課
産学官連携により、効果的に減塩が進む体制を構築	福井県版食環境づくり推進事業	・産学官連携で省塩(減塩)に取り組む「ふくい省塩のプロジェクト」立上げに向けた検討委員会開催 2回 ・減塩の取組みに関する実態調査(事業者および市町対象)の実施 ・市町職員等を対象とした食環境づくりの推進に関する研修会(60人)	健康政策課
非常時に役立つ調理方法や食品の安全性など自らを守る食の知識を、家庭、地域、学校、職場など様々な場において普及	福井の「食」の未来を支える食育推進事業【再掲】	・各種団体で食育講座を開催(食育リーダー派遣)	流通販売課
	栄養成分表示対策事業	・食品表示法に基づいた適切な栄養成分表示が行われるよう、食品関係事業者に対する監視・指導体制の整備、試買検査の実施 検査実施数等:4検体	健康政策課
オンラインセミナー等、デジタル技術を活用した食育を拡充	福井の「食」の未来を支える食育推進事業	・食と健康に関する『ふくいの食育応援マガジン』を県ホームページ上に掲載	流通販売課
	小学生社会科副読本「ふくいの農林水産業」	・小学校社会科副読本『ふくいの農林水産業』を県ホームページ上に掲載	流通販売課
効果的な食育推進のため、栄養教諭、食生活改善推進員、ふくいの食育リーダーなど、食の知識提供者に対する研修・講習を実施	福井の「食」の未来を支える食育推進事業	・食育リーダー向け研修会の開催	流通販売課
	「ふくい100彩ごはん」プロジェクト普及・啓発事業	・食生活改善推進員を対象に、次世代の健やかな生活習慣の形成に関する専門的な知識と技術を普及するための講習会 回数・参加者数:10回・298人	健康政策課
	栄養教諭等に対する研修	・食に関する指導およびその教材となる給食の提供を通じ、児童生徒の心身の健全な発達や望ましい食習慣の確立などの食育を推進するための研修を実施 回数・参加者数:2回・275人	保健体育課

令和6年度「第4次ふくいの食育・地産地消推進計画」関係施策実施状況

【食育】基本理念:持続可能な食を支える食育の推進

主な施策	関連事業	内容・実績	担当課
②生産者・生産現場とのつながりを深める食育の推進			
生産者や加工・流通業者の取組みを食のイベントやウェブを通じて消費者へ紹介し、技術やこだわり、労力などへの県民理解を醸成	福井の「食」の未来を支える食育推進事業	・学校における地域の食材や食文化・農林漁業を学び体験する授業の実施を支援 実施校:104校	流通販売課
農林漁業体験の開催を支援するとともに、地域団体等と連携し、気軽に参加できる農林漁業体験を充実	農村発イノベーション推進事業	・農村資源を活用した特産品、メニュー、景観づくり等支援 9件 ・魅力ある加工・体験・滞在施設等の整備支援 14件 ・農遊スタンプラリー実施、PR(8/1～10/31)参加者数 1,492人 ・農遊コンシェルジュの強化 スキルアップ研修会: 3回	中山間農業・畜産課
	もり人づくり事業	・カンタケやウスヒラタケの栽培、原木シイタケ駒打ち体験、きのこ料理教室等を開催(79回 1,979名)	森づくり課
ブランド米についての知識を深め、愛着を高める子ども向け養成講座を実施	「いちほまれ」ネクストステージ躍進事業	・小中学校を対象とした、ちびっコンシェルジュ養成講座の実施 実施校数 6校 認定人数 253名	福井米戦略課
児童生徒を対象とした農林漁業体験や環境との調和に関する食育の実施	福井の「食」の未来を支える食育推進事業【再掲】	・学校における地域の食材や食文化・農林漁業を学び体験する授業の実施を支援 実施校:104校	流通販売課
児童生徒が自らの地域の生産者と交流し、特産物の栽培方法・調理方法などを調査し、その魅力を発信する活動を支援	ふるさと教育推進事業	・児童生徒が自らの地域を探究し(地元の特産物の調査や栽培、調理など)、地域の魅力を発信するCMを作成 実施校活動費用助成 51校 小・中・高 各応募数:小79作品、中33作品、高126作品	義務教育課
③環境との調和への関心を高める食育の推進			
環境に配慮した農林水産物・食品についての知識を普及するイベントや食育講座を開催	福井の「食」の未来を支える食育推進事業【再掲】	・各種団体で食育講座を開催(食育リーダー派遣)	流通販売課
有機・特別栽培米の学校給食への導入を支援することにより、有機・特別栽培米を食べて学ぶ機会を提供	ふくいの有機米・特別栽培米・地場産給食推進事業	・福井県産の有機米および特別栽培米を学校給食で提供	流通販売課
「フードロスマイスター」の育成や「おいしいふくい食べきり運動」などの推進により食品ロス削減等の活動を普及	食品ロス削減推進事業	・食品ロス削減の知識をもつ「フードロスマイスター」の育成(マイスター育成数:370名) ・てまどりの推進 ・「おいしいふくい食べきり運動」の推進 ・水切りによる生ごみ減量の推進	循環社会推進課
「エシカル消費」の考え方を広めるイベント・セミナー等を開催	エシカル消費促進事業	・ふくいおもいやり消費応援団(23事業所92店舗登録 3月末時点) 取組事例を県HPやイベント開催時にパネルなどで情報発信 ・エシカルチャレンジ(7/10～2/10)SNS(Facebook、X)を利用したエシカル消費に関する情報発信、期間中4回クイズを実施し県産品をプレゼント(10名×4回、参加者数:715名) ・「ふくい・エシカルアクションセミナー」ユー・アイふくい(11/15)『地味にすごい、福井でエシカルに取り組もう』～企業に求められる「エシカル」とは～ 講師:日本エシカル推進協議会会長 生駒芳子氏(参加者:144名) ・親子教室 規格外野菜を利用したカレーライス作りを通して、食品ロスやエシカル消費を学ぶ親子教室を開催(参加者:19組54名) ・啓発リーフレット「消費者市民社会」9,000部(3月)	県民安全課
	消費者月間啓発強化事業	・地産地消を含めたエシカル消費の紹介パネルを消費者フォーラムや図書館等(3ヶ所)で展示	県民安全課

令和6年度「第4次ふくいの食育・地産地消推進計画」関係施策実施状況

【地産地消】 基本理念:地場産食材の魅力再発見による地産地消の推進

主な施策	関連事業	内容・実績	担当課
①直売所や小売店等を通じた地産地消の拡大			
直売所間の相互輸送ネットワークの強化や集荷体制の強化、デジタル技術を用いた来客・販売データの分析とその活用などを支援することにより、直売所の品揃えを充実	直売所への農産物集荷拠点整備	・直売所への農産物集荷拠点整備	流通販売課
地産地消などのエシカル消費推進に積極的に取り組む小売店等の活動を発信	エシカル消費促進事業	・ふくいおもいやり消費応援団(23事業所92店舗登録 3月末時点) 取組事例を県HPやイベント開催時にパネルなどで情報発信 ・エシカルチャレンジ(7/10～2/10)SNS(Facebook、X)を利用したエシカル消費に関する情報発信、期間中4回クイズを実施し県産品をプレゼント (10名×4回、参加者数:715名) ・「ふくい・エシカルアクションセミナー」ユー・アイふくい(11/15)『地味にすごい、福井でエシカルに取り組もう』～企業に求められる「エシカル」とは～ 講師:日本エシカル推進協議会会長 生駒芳子氏(参加者:144名) ・親子教室 規格外野菜を利用したカレーライス作りを通して、食品ロスやエシカル消費を学ぶ親子教室を開催(参加者:19組54名) ・啓発リーフレット「消費者市民社会」9,000部(3月)	県民安全課
地場産農林水産物・食品の購入促進キャンペーンにあわせ、直売所や小売店等における地場産コーナーをキャンペーンサイト等で紹介	ふくい農林水産グルメイベント開催事業	・地場産食材を購入し、写真に撮って専用サイトから応募することで、抽選で福井県の特産品が当たるキャンペーンを実施 実施期間:令和6年8月1日(木)～31日(土) :令和6年10月1日(火)～31日(木) :令和7年1月1日(水)～31日(金) 参加店舗数:スーパー122店舗・直売所40店舗 計162店舗 応募者数:延2,492人	流通販売課
②地場産農林水産物・食品の消費促進による地産地消の拡大			
食や農に関する体験型のセミナーを開催し、地場産農林水産物・食品の魅力を紹介	福井の「食」の未来を支える食育推進事業	・生産者や生産現場との交流を通して食料の生産から消費に至るまでの食の循環について知り、学び、実際に体験してもらう体験型セミナーを実施 実施回数:4回 のべ参加者数:72人	流通販売課
地場産農林水産物・食品購入促進イベント・キャンペーンの実施	ふくい農林水産グルメイベント開催事業	・ふくいの豊かな食や食文化、農林水産業を学び、味わい、体験できるイベントを新幹線開業を見据えて福井駅前において開催 イベント名:ふくい食と農の博覧会 開催日:令和6年9月28日(土)・29日(日) 開催場所:福井駅前～県庁一帯 ・「ふくい 秋の味覚月間」キャンペーンにおいて、食品メーカーとタイアップした地産地消レシピの紹介と販売キャンペーンを県内スーパーで展開 配布店舗:60店舗(ハニー、ハーツ、ヤスサキ)	流通販売課
		・地場産食材を購入し、写真に撮って専用サイトから応募することで、抽選で福井県の特産品が当たるキャンペーンを実施【再掲】	流通販売課
		・そば処としての福井県の知名度向上や県産そばの消費拡大などを図るため、全国の有名そばとの食べ比べができるイベントを新幹線開業を見据えて福井駅前にて開催 イベント名:福井そば博2024 開催日:令和6年11月2日(土)・3日(日) 開催場所:ハピリン	福井米戦略課
	新鮮いつでもどこでもふくいの魚提供事業	・新幹線開業を来県者増加の機会ととらえ、若狭牛、ふくいポーク、福地鶏等の県産ブランド畜産物をPRするイベントを開催する。他、県内精肉店をめぐるスタンプラリーを実施する。 イベント実績 1回 スタンプラリー 1回	中山間農業・畜産課
		・北陸新幹線県内開業に向けて、嶺南の魚を嶺北で提供できるよう、流通体制を整備するほか、県内外において県産ブランド魚の認知度向上を図る。 イベント実施実績:10回	水産課

令和6年度「第4次ふくいの食育・地産地消推進計画」関係施策実施状況

【地産地消】 基本理念:地場産食材の魅力再発見による地産地消の推進

主な施策	関連事業	内容・実績	担当課
生産・流通事業者や学校などの関係者が連携した給食における地場産農林水産物・食品の使用率向上のためのモデル実証	ふくいの有機米・特別栽培米・地場産給食推進事業	・地場産学校給食推進会議の開催 開催日:令和7年2月25(火) 出席者:26名 ・地場産食材供給体制構築モデル実証 モデル実証:2件 ①福井県学校給食会(若狭牛・ふくいポーク・県産小松菜を使用した加工品(コロッケ)の開発、規格外の梨を活用した加工品(ゼリー)の開発、かぼちゃペーストの導入) ②JA福井県(規格外の越のルビーを活用したペースト品の開発、導入)	流通販売課
農村の資源を活用し、新たな特産品等の開発や販路開拓を支援	農村発イノベーション推進事業	・アグリフードEXPOでの福井県ブース設置(出展事業者 9事業者) ・農村資源を活用した特産品の販路拡大を支援(2事業者) ・ふくいローカルフードプロジェクトでの新ビジネスの創出を支援	中山間農業・畜産課
米粉消費拡大のため、米粉レシピの紹介、米粉商品の開発支援や米粉加工用品種の栽培試験の実施	米粉普及拡大推進事業	・米粉商品開発研修会を開催(2月) ・「こめこのふくい」商品販売会を開催(3月) ・県産米粉を活用した商品開発を支援(1事業者) ・米粉の用途・品種の適性試験 ・米粉加工用米品種の栽培試験	中山間農業・畜産課 園芸振興課
	福井の「食」の未来を支える食育推進事業【再掲】	・各種団体で食育講座を開催(食育リーダー派遣)	流通販売課
食品メーカーとタイアップした地産地消レシピの紹介	ふくい農林水産グルメイベント開催事業【再掲】	・ふくいの豊かな食や食文化、農林水産業を学び、味わい、体験できるイベントを新幹線開業を見据えて福井駅前において開催 ・「ふくい 秋の味覚月間」キャンペーンにおいて、食品メーカーとタイアップした地産地消レシピの紹介と販売キャンペーンを県内スーパーで展開	流通販売課
小規模農家等による地域特産品の生産振興を支援	がんばれ特産産地！小さな農業応援事業	・既存産地を下支えしている小さな農家や集落営農組織等の新たなチャレンジに対して「ちょい足し」支援を行い、地域特産物の生産振興を図る。 支援数:25件 対象特産物:ウメ、里芋、ネギ等	園芸振興課
③観光客・関係人口をターゲットとした地産地消の拡大			
地場産農林水産物・食品の特徴や魅力等を訴求するストーリー動画やウェブサイトの活用により美食福井をPR	「いちほまれ」ネクストステージ躍進事業	・いちほまれを紹介する動画をHPにて公開(5本)。販売会等のイベント会場にて投影。 イベント回数:5回	福井米戦略課
	美食福井ブランドアップ事業	・北陸新幹線開業に向け、県内外におけるプロモーションを通して福井の食の魅力および認知度の向上を図るとともに、県産農林水産物の販路拡大を促進する。 配信実績:ウェブサイト掲載 24品目	流通販売課
県外客をターゲットとした新幹線駅前におけるグルメイベントの開催	ふくい農林水産グルメイベント開催事業【再掲】	・ふくいの豊かな食や食文化、農林水産業を学び、味わい、体験できるイベントを新幹線開業を見据えて福井駅前において開催 ・「ふくい 秋の味覚月間」キャンペーンにおいて、食品メーカーとタイアップした地産地消レシピの紹介と販売キャンペーンを県内スーパーで展開	流通販売課
	ふくい農林水産グルメイベント開催事業【再掲】	・新幹線開業を来県者増加の機会ととらえ、若狭牛、ふくいポーク、福地鶏等の県産ブランド畜産物をPRするイベントを開催する。他、県内精肉店をめぐるスタンプラリーを実施する。 イベント実績 1回 スタンプラリー 1回	中山間農業・畜産課
	新鮮いつでもどこでもふくいの魚提供事業【再掲】	・北陸新幹線県内開業に向けて、嶺南の魚を嶺北で提供できるよう、流通体制を整備するほか、県内外において県産ブランド魚の認知度向上を図る。 イベント実施実績:8回	水産課

令和6年度「第4次ふくいの食育・地産地消推進計画」関係施策実施状況

【地産地消】 基本理念：地場産食材の魅力再発見による地産地消の推進

主な施策	関連事業	内容・実績	担当課
生産者、卸売、飲食店・宿泊施設等の相互交流、飲食店・宿泊施設向け食材セミナーの開催等により、飲食店・宿泊施設での提供機会の拡大	美食福井ブランドアップ事業	北陸新幹線開業に伴い増加する県内外の客に県産食材を楽しんでもらうために、県内飲食店等のシェフ、スタッフに対し各食材の勉強会を開催し利用客への食材の魅力説明を向上させる。 開催回数：6回 対象品目：16品目 参加事業者延べ：80事業者	流通販売課
	「いちほまれ」ネクストステージ躍進事業	・アンテナショップでの新米いちほまれ試食販売他 実績：アンテナショップや全国の量販店124店舗にて実施 ・百貨店バイヤー、米穀専門店等の現地視察 視察回数(6回)・参加者数(10名)	福井米戦略課
	新鮮いつでもどこでもふくいの魚提供事業	・北陸新幹線県内開業に向けて、嶺南の魚を嶺北で提供できるよう、流通体制を整備するほか、県内外において県産ブランド魚の認知度向上を図る。 実績：京都市の高級料亭で勉強会1回	水産課
農村資源を活用した特産品や景観づくり、加工・体験・滞在施設等のコンテンツ強化により福井の食と農の魅力をPR	農村発イノベーション推進事業	・福井の魅力ある農村資源を活用した新たな特産品・メニュー・景観づくり、加工・体験・滞在施設整備を支援(23事業者) ・農遊スタンプラリーの開催(1回)	中山間農業・畜産課
ふくいの食と農の魅力を伝える「農遊コンシェルジュ」や提供する農家レストラン・民宿経営者等の育成や郷土料理を提供する飲食店などの紹介	農村発イノベーション推進事業【再掲】	・福井の魅力ある農村資源を活用した新たな特産品・メニュー・景観づくり、加工・体験・滞在施設整備を支援(23事業者) ・農遊スタンプラリーの開催(1回)	中山間農業・畜産課